



無償資金協力に係る事後評価票

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。  
二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成20年度)をご参照下さい。

担当公館名：在シリア日本国大使館	
国名：シリア・アラブ共和国	案件名：ゴラン病院医療機材整備計画
E/N署名日：2003年12月3日	供与限度額：4.52億円
先方実施機関：保健省	完工日：2004年12月12日
他の関連協力：なし	
1. 案件の目的 (B/D時の目標・想定効果を記載)	<p>シリア第9次5ヶ年国家社会経済開発計画(2001~2005年)のもと、保健省は、2005年までに120床規模の病院18カ所を整備する「18病院計画」を策定。本案件は、18病院計画の一施設であるゴラン病院開院に必要な医療機材を整備し、国内で国立病院のない唯一の県であったクネイトラ県の住民に対する医療サービスの向上を目的とする。</p> <p>想定効果として、ゴラン病院が位置するクネイトラ県住民約11万2千人に対して、入院施設を有した2次レベル医療施設(一般入院や一定の手術に対応した医療施設)としての医療サービスを提供することが可能となる。</p>
2. 案件の内容	<p>本案件は、ゴラン病院に対し2次レベル医療施設として必要な医療機材を調達するとともに、医療機材の維持管理体制整備を支援するソフトコンポーネントを提供するものである。</p> <p>主要調達機材は、放射線機材(X線撮影装置、CTスキャナー等)、画像診断関連機材(エコー等)、患者監視関連機材(除細動器等)、生体機能関連機材(新生児用保育器等)、臨床検査関連機材、眼科関連機材、耳鼻咽喉科関連機材、一般・専門外科関連機材、内視鏡関連機材、麻酔関連機材(麻酔器、人工呼吸器等)、滅菌関連機材、手術用器具、物理療法関連機材、救急車(1台)、管理部門関連機材(洗濯・乾燥機、調理機材等)である。</p> <p>また、病院の維持管理部門を対象として、機材納入時の手順書の作成支援、日常点検等の実施モニタリング方法の整備支援、機材故障時の対応や消耗品払い出し等の対応マニュアル作成支援等を実施した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>CTスキャナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>新生児保育器</p> </div> </div>

<p>3. 案件の妥当性</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>本案件は、シリア政府が第9次5ヵ年国家社会経済開発計画(2001～2005年)の中で保健分野の目標の一つとして掲げる「医療サービスの改善・強化」に大きく貢献するものであり、我が国が対シリア援助重点分野の一つ「社会サービスの拡充」の中で開発課題として掲げる「保健・社会的弱者の環境改善」に沿ったものである。また、機材供与先となるゴラン病院は、シリア国内で唯一病院の無かったクネイトラ県に初めて建設された2次レベル医療サービスの提供可能な病院であり、これまでダマスカスなど遠方への通院を強いられてきた地域住民のニーズに応えるものである。</p>																				
<p>4. 施設／機材の適切性・効率性</p>	<p>全般的評価：A- (外部有識者による二次評価:B+)</p> <p>供与された機材のうち、専門医の配置が遅れていることにより使用されていない機材(透析装置)が一部見受けられたものの、放射線機材(X線撮影装置、CTスキャナー等)、画像診断関連機材(エコー等)、患者監視関連機材(除細動器等)、生体機能関連機材(新生児用保育器等)、臨床検査関連機材(各種分析装置)及び各診療科に導入した機材については適切かつ効率的に管理・使用されている。</p>																				
<p>5. 効果の発現状況(有効性)</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>2005年5月の開院当初から、外科・救急医療分野を中心に多数の患者を受け入れており、近隣県からも多数来院している。ゴラン病院による医療サービス状況(月平均:ゴラン病院統計資料)は以下の通り。</p> <table border="1" data-bbox="430 1198 1428 1422"> <thead> <tr> <th></th> <th>(2005年)</th> <th>(2006年)</th> <th>(2007年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・救急患者数(人/月)</td> <td>2,611</td> <td>2,531</td> <td>2,388</td> </tr> <tr> <td>・外科手術件数(件/月)</td> <td>65</td> <td>135</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>・ICU患者数(人/月)</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>・出産件数(件/月)</td> <td>61</td> <td>83</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>		(2005年)	(2006年)	(2007年)	・救急患者数(人/月)	2,611	2,531	2,388	・外科手術件数(件/月)	65	135	128	・ICU患者数(人/月)	19	20	22	・出産件数(件/月)	61	83	83
	(2005年)	(2006年)	(2007年)																		
・救急患者数(人/月)	2,611	2,531	2,388																		
・外科手術件数(件/月)	65	135	128																		
・ICU患者数(人/月)	19	20	22																		
・出産件数(件/月)	61	83	83																		
<p>6. インパクト(上位目標への影響等)</p>	<p>全般的評価：A+ (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>本案件により、2005年までに120床規模の病院18カ所を整備する「18病院計画」の一つであるゴラン病院の開院に必要な医療機材が整備され、シリア国内で唯一病院のなかったクネイトラ県において、地域住民に対する2次レベル医療サービスが提供開始された。地域住民のみならず近隣県からも多数の患者が利用するなど、クネイトラ県における医療サービスは大きく改善された。</p>																				
<p>7. 自立発展性・さらなる改善の余地(改善の余地がある点については)</p>	<p>全般的評価：A- (外部有識者による二次評価:B)</p> <p>供与機材は概ね良好に維持・管理されている。今後は、シリア側が機材の日常メンテナンスを適切に行えるよう注意深くモニタリングしていくことが重要。</p> <p>2004年の暫定開業当時の職員配置数45名と比較すると、2005年5月に本格的に開業されてから約3年9ヶ月が経過した2009年1月現在</p>																				

以下に記入)	では 496 名となっており、人員体制は強化されている。しかしながら、保健省の職員配置計画では、2008 年で医療系 473 名、事務系 163 名の計 636 名となっており、体制整備が計画通り進捗しているとは言いがたい。供与機材の一部には専門医の配置が遅れていることにより未使用となっているものがあり、特に医療系スタッフの充実が求められる。なお、当院では、現在研修中の医療系スタッフを研修終了後に配置する計画を有しており、人員体制の充足に向けて尽力している。
(1) 対応方針	当館よりシリア政府及び関係機関に対して、引き続き供与機材の有効活用及びそのための人員体制を強化するよう申し入れる。
(2) 対応方針理由	人員体制が計画通り配置されることにより、供与機材がより有効に活用され、適切に維持・管理されることが期待されるため。
8. 広報効果（ビジビリティー）	<p>全般的評価：A＋（外部有識者による二次評価：A－）</p> <p>2005 年 4 月に行われたゴラン病院での引渡式には、保健大臣、クネイトラ県知事、地元選出議員、マスコミ関係者等が多数参列し、盛大に執り行われた。その際、我が国による支援であることを示すプレートが病院玄関口に設置されており、病院を訪れるすべての人たちの目に触れている。</p> <p>我が国は、本案件以外にも、1993～1994 年に、全国主要国立病院 22 カ所の救急部門に ICU 機材、国立病院 4 カ所に CT、及び全国 14 県の保健局に救急車を供与するとともに、1997 年に国立ダマスカス病院、2001 年にアレッポ大学病院にそれぞれ医療機材を導入しており、我が国の保健分野に対する重層的な支援は、当国政府から高い評価を得るとともに、マスコミや一般市民まで幅広く認知されている。</p> <div data-bbox="896 1171 1439 1536" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">病院玄関口の広報プレート</p>
9. 被援助国による評価（外交的効果についても、本欄に記述する）	<p>第 4 次中東戦争後、当時のゴラン病院（旧ゴラン病院）はイスラエル軍が引き上げる際に完全に破壊されたとされている。1980 年代前半より、シリア政府は現在のゴラン病院の建設を開始したが、財政的問題でその進捗が遅れ、長年にわたりクネイトラ県だけが唯一病院のない県となっていたことから、クネイトラ県にとってゴラン病院はまさに悲願であった。</p> <p>また、ゴラン高原では、1974 年から国連がシリア・イスラエル両国の兵力引き離し監視活動を行っており、我が国も、1996 年より自衛隊を派遣し、現在も当該地域の平和維持活動に尽力している。</p> <p>クネイトラ県、ゴラン高原における我が国の経済協力、国際平和協</p>

	力はシリア政府からも高く評価されており、外交的効果は極めて大きい。
10. 提言・教訓	医療スタッフの能力向上のため、研修生受入やボランティアの派遣を検討する。
11. その他	イスラエルの占領下にあるゴラン高原とクネイトラ県の停戦監視地帯には多数の地雷が埋設されており、現在も地雷による被害者が後を絶たない。(クネイトラ県における地雷被害者数は計550名、うち死亡203名、上半身欠損=17名、下半身欠損=230名、視覚障害=100名となっている。)